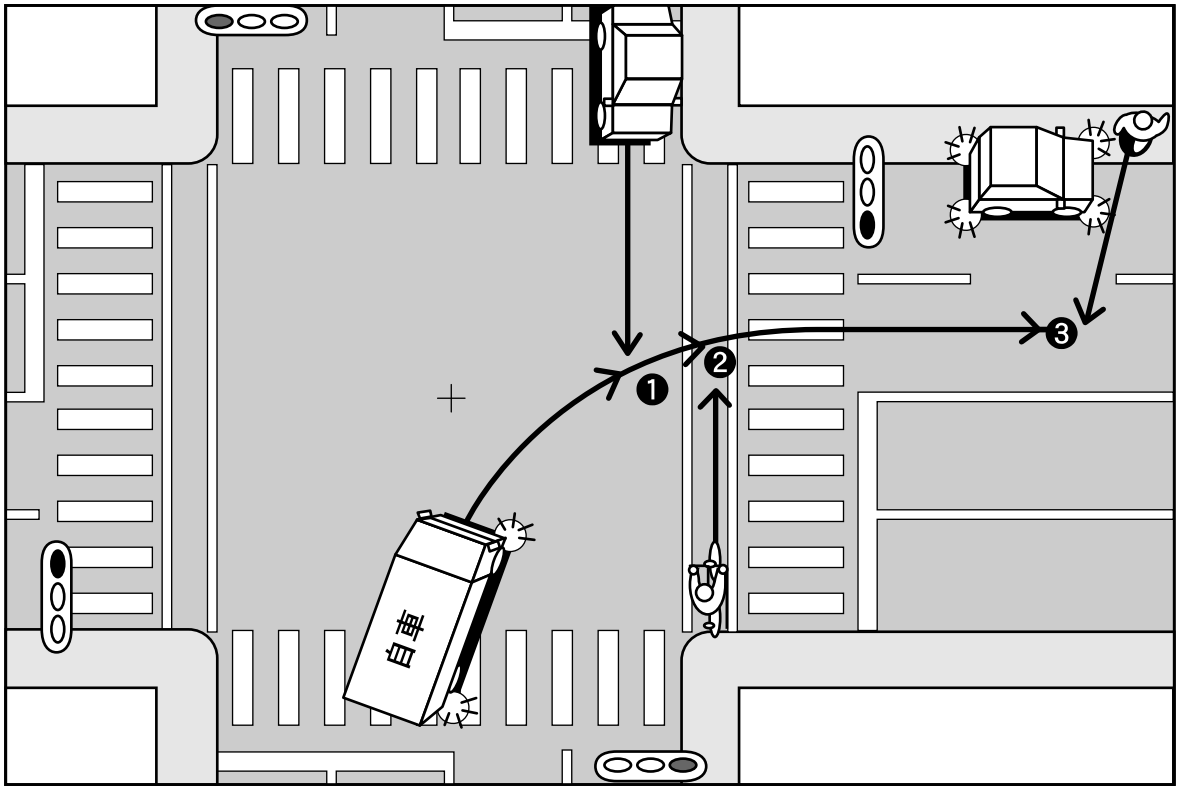
〔トラック１〕交差点の右折



１．主な危険要因の例

❶　対向車が交差点に接近しており、このまま右折をしていくと衝突する危険がある。
❷　横断歩道の右側から自転車が渡ろうとしており、このまま右折をしていくと衝突する危険がある。
❸　右折していく道路の先に駐車車両の陰に歩行者が見えるが、この歩行者が横断してくるとはねる危険がある。

２．安全運転の例

①　対向車が接近しているときは右折をせずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。
②　右折していくときは、横断歩道の状況だけでなく横断歩道の先の状況にも注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。

３．乗務員指導のポイント

①　次のような右折時の安全走行の基本について再確認させる。
・対向車があるときは無理をせず、対向車の通過を待つ。
・横断歩道の状況を確認する。特に横断歩道の右側から渡ってくる自転車や歩行者を見落としやすいので意識して確認をする。
・右折していくときは、いつでも停止できる速度で進行する。
②　交差点内だけでなく、交差点の先の状況にも目を配るよう指導する。